

じょい joy

じょい joy マスコット犬
じょいワン・ノアさん

福祉目線
のタウン情報通信

05

2023.2.22

- 特集…… P2-3
- ふくし掲示板…… P2-3
- わが町のふくし人…… P3
- 矢巾町サロン情報…… P4

特集

生活支援コーディネーターがお届けする
高齢者にやさしいお店

スーパーが家まで来ます！

やはば移動スーパー



前回までの
じょい joy はこちらから



生活支援コーディネーターがお届けする 高齢者に やさしいお店

「高齢者にやさしいお店」とは、「認知症サポーター養成講座」を受講して認知症を正しく理解し、地域の高齢者に「やさしく」「利用しやすい」工夫やサービス提供をしている店舗・事業所のことです。じょい joy は、登録店の情報の掲載を通じて町中に「やさしいお店」が広がっていくことを期待しています！

「生活支援コーディネーター」の役割は？

地域に暮らす皆さまが、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域の「困りごと」を把握し、お互いの「助け合い」を支援します。

じょい joy マスコット犬
じょいワン・ジミーくん



※認知症サポーター養成講座を受講して

受講して、認知症といっても様々な症状の方がいるし、人それぞれ関わり方が違うんだということ学びました。私たちが地域の一員として店内で困っている方を見かけたら積極的に声がけていますし、必要なときは地域包括支援センターと連携をとることでサポートしてもらえらるという安心感を持ちながら日々の業務ができるようになりました。

岩手銀行矢巾支店 [いわてぎんこうやはばしてん]

「信頼の、さらにその先へ」

来店されるお客様への日々の対応、特に高齢のお客様が困っているようであれば丁寧に話を聞き、困りごとの解決ができるようお手伝いしているとのこと。困りごとの内容「通帳や印鑑がなくなった」という相談から「ATMの操作が分からない」「タクシーを呼んでほしい」など人によって様々。

また高齢者を狙った詐欺に対しては、防止を念頭に、事件性がないかなど、お客様の資産を守ることはもちろん、どんなことでもお客様に寄り添いながら親身になって対応する姿勢が感じられました。

DATA

住所▶矢巾町大字南矢幅第7地割443番地
TEL▶019-697-8561
営業時間▶9:00~15:00
ATM営業時間▶8:00~21:00

- ①矢巾町の中心部に店舗を構え、アクセスの良い場所にあります。
- ②地域や高齢者の方々への思い。「私たちの使命はお客様の資産を守ること」と力強く話していたことが印象的でした。
- ③お客様と安心して会話のやり取りができるようボイスメッセージや老眼鏡、杖ホルダーなどの安心アイテムが設置されています。

3.くし 掲示板

精神保健ボランティアやまゆり

平成15年5月に、精神保健ボランティア養成講座を受講した10名で設立し、今年で設立20周年を迎えました。家族会・当事者会の活動や、心の健康が保てるよう支援していくことを目的としています。

主な活動内容は、月に1回の「のんびりクラブ」、精神障がい者当事者会「どんぐりの会」と家族会「矢巾町あすなろ会」との3団体交流や、どんぐりの会の活動支援も行っています。

会員は17名で、精神保健ボランティア養成講座を受講し、「心の健康、精神障がい」について正しく理解するとともに、悩みや不安を持つ方とその家族への接し方を学んでから活動しています。



自分自身、または自分のご家族・友人・身近な方に、こんな様子はありますか？

- 自分が役に立つ人間であると思わなくなった
- 周囲との交流を避け、外出をしなくなった
- 遅刻や早退、欠勤が増え、ミスも多くなった
- 理由もない疲労感や体調不良が多くなった
- 趣味に取り組みなくなった
- 表情が暗く、元気がなくなった
- 飲酒量が増えた

心の不調に気づいたときは早めに専門機関や医療機関に相談しましょう。

～「心の健康」について
考えてみましょう～

スーパーが家まで来ます！「やはば移動スーパー」



生活支援コーディネーター
藤沼 のぞみ

矢巾町とサン・フレッシュ都南が連携して実施する矢巾町生活支援事業「やはば移動スーパー」をご存じですか？新鮮な野菜や果物、卵、牛乳などの生鮮食品やお惣菜、菓子類などをたっぷり積んだ移動販売車が地区の公民館や個人宅など、皆様の地域におうかがいしています。特に高齢者や障がい者、運転免許を返納された方など、外出に困難を感じている方に便利なお店です。

今回は実際に移動スーパーを運営しているサン・フレッシュ都南の担当者と利用者の方にお話を伺いました。



矢巾町社会福祉協議会
佐々木 崇臣



サンフレッシュ都南 ^{うわの}上野 れい子さん

訪問した先で「寒いから体調に気を付けてね！」と声をかけると「そちらも頑張ってるね！」と励まされることがあり、お客様からいつも元気をもらっています。お客様と気軽に会話をしたりふれあうことができるのは移動スーパーならではの良さだと感じています。しばらく姿を見てないな、と思っていた方と久しぶりに会えたときは、とても嬉しくなります。お客様の元気な笑顔を見ることが励みになっています。

揚げ物などのお惣菜や新鮮な野菜が人気商品です。

利用者の声

いつもは車で都南方面に買い物に行っていますが、移動販売車が来ると聞いていたので利用してみました。冬場は外出するのが大変な日もあるので、ありがたく感じています。



はじめは地区公民館での販売のみでしたが、昨年12月から、支援の必要な方を対象に個人宅への訪問も始めています。「おれんじボランティア」の皆さんによる声がけや買い物のお手伝いなども行っています。



おれんじボランティア 小笠原さん (写真右)

移動スーパーが自宅の前に来ているのでお手伝いをしています。地域の高齢者さんにお声をかけたら毎回5～6人くらいは買い物にいらっやいます。重い野菜などは運ぶのが大変なので、特に助かるとお話しされています。

移動スーパーはどなたでも買い物していただくことができます。商品1点につき10円の手数料が加算されます。音楽を鳴らしながら販売していますので、写真の移動販売車を見かけた際はぜひご利用ください。また、個別配達のご相談も受けていますので、ご希望の方は下記までお問い合わせください。

■問い合わせ先 サン・フレッシュ都南 ☎019-637-6801
矢巾町産業観光課 ☎019-611-2611



のんびりクラブ

自由にのんびり過ごせる居場所として開催しています。悩みや不安を抱えている方、そのご家族、どなたでもお気軽にご参加ください。

日時 毎月15日午前10時～11時30分 ※平日のみ

場所 さわやかハウス2階和室「のんびりルーム」



■問い合わせ 役場福祉課生活相談係 (☎611-2574)

わが町の くし人

平成8年度にいわて女性洋上セミナーに参加させていただき、学んだことを地域に還元したいと思うようになりました。その時の参加者で精神保健ボランティアをされている方がいて、興味を持ったのが活動のきっかけです。施設へ訪問した際は顔なじみの方に声をかけてもらうことができ、とてもうれしく感じます。活動を行う上で、「おせっかいをしすぎず、相手が求めてきたお手伝いをする」ということを心がけ、見守ることを大事にしています。やまゆりの活動のほかにも様々なボランティア活動に携わっていますが、日々勉強だと感じています。相手のためだけでなく、自分が楽しんでこそボランティア活動だと思っています。



吉田 トクヨ さん

精神保健ボランティアやまゆり副会長。会の設立当初から活動を続け、ほかの様々なボランティア活動に尽力している。

次は渡辺 英夫さんへバトンタッチ！

エン(緑)ジョイ
やはばネットワーク

こびりっこサロン

通いの場
体操くらぶ

エンジョイ・いどばた会

■代表者 (中央) **細川 順一さん**

シルリハ体操のほか、輪投げや卓球バレー、ディスコンなどを楽しんでいます。体操もちろんですが、近所の人たちのお話を楽しみに来ている人も多くいます。6名で役割を分担して運営しているので負担感が少なく、長く楽しく続けられています。



活動拠点 矢巾2区公民館
活動日 毎月第2・4木曜日 10時～12時(感染症対策のため時間短縮中)
会費 100円
内容 シルリハ体操、軽スポーツ、お茶会、脳トレなど

サロン広宮沢玉生

■代表者 **成田 榮一さん**

「明るく、楽しく～」を第一に活動しています。SDGsなどの新しい言葉や身近な問題について学習したり、各種体操や軽スポーツを行い、フレイル予防にも努めています。



活動拠点 広宮沢玉生会館
活動日 毎月第3土曜日 10時～12時
会費 100円※コロナ禍により現在はなし
内容 談話、学習会、ラジオ体操、軽スポーツ、健康チェックなど

東ズッキーサークル

■代表者 **川村 恵子さん**

口腔ケアや床に座って行うメニューを取り入れたシルリハ体操をしています。指導者の方も毎回いろいろな話題を提供してくださり、和気あいあいと会話を楽しみながら体操を行っています。すぐに結果は出なくても継続して行うことの大切さを感じています。



活動拠点 東徳田2区公民館
活動日 毎週火曜日 10時～11時
会費 なし
活動内容 シルリハ体操 談話 など

認知症の人にやさしいまちづくり やはば宣言

～驚かせない 急がせない 自尊心を傷つけない～

認知症の人にやさしいまちづくり やはば宣言

認知症は特別なものではなく、多くの人がなり得る病気です。高齢社会を迎えて、誰もが認知症の人を支え、あるいは認知症の当事者や家族として、認知症と共に歩む時代になりつつあります。認知症の人と接するときは、3つの「ない」を心がけ実践します。
～ 驚かせない 急がせない 自尊心を傷つけない ～
私たちは、町民みんなが認知症を正しく理解し、3つの「ない」を心掛けることで、認知症の人たちも、あるいは認知症になっても、誰もが住み慣れたところで希望を持ち、人生の最後まで心豊かに、安心して暮らしていけるまちの実現を目指すことを決意します。矢巾町は、私たちの選んできた町として、町民みんなに「和といたわりと希望の町」を目指します。
その礎のもと、矢巾町は、町民みんなが、世代や立場を超えて認知症の人やご家族に和といたわりのある、温かい心の通ったまちを築いていこう。認知症の人たちも希望を持ち続け、安心して気兼ねなく社会に参加することができる認知症の人にやさしいまちづくりに取り組むことをここに宣言します。

令和4年11月5日
矢巾町長 **高橋 昌造**

令和4年11月5日に開催した「チームオレンジやはば祭り」オープニングセレモニーにおいて、高橋町長が「認知症の人にやさしいまちづくり やはば」宣言をしました。

日本の高齢化率は、世界でも類を見ない速さで進行しており、今後、さらに加速していくと予想されています。宣言では「認知症になっても大丈夫！」という安心感を持って暮らせるよう、認知症に対する正しい理解を広め、みんなで支え合える町づくりを目指していくことが盛り込まれています。

認知症のご本人とご家族が希望を持ち、自分らしく暮らすことができるまちづくりを皆さんと一緒に進めていきましょう。



<高齢者にやさしいお店>大募集

町では「高齢者にやさしいお店」に登録したい店舗・企業を募集しています。登録には「認知症サポーター養成講座」の受講が必要です。講座は1時間～1時間半程度で受講料は無料です。ご登録いただいたお店はじょいjoyでご紹介し、「高齢者にやさしいお店」ステッカー(右)を配布します。ぜひご活用ください。

■受講希望・お問い合わせ 矢巾町健康長寿課 Tel 019-611-2830



編集後記

政府は、3月13日から新型コロナウイルス対策のマスク着用を屋内外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定しました。しかし、脱マスク後も医療機関や高齢者施設、通勤ラッシュ時の電車内などはこれまで通りマスク着用が推奨される見込みです。

私たちの生活にすっかり浸透した「マスク」。脱マスクになった後、私たちの生活に変化はあるのでしょうか。政府の言う「互いの笑顔を見ながらの卒業式」は素晴らしいなあ、と思う一方で、マスク着脱をめぐるトラブルへの不安も感じています。正しい情報を得て、脱マスク後の生活を考えていきましょう。

